



向陽高校は平成18年度にスーパーサイエンスハイスクール(5年間)の指定を受け、4年目に入りました。

- ・ ところで、SSHってなに？
- ・ SSHの指定を受けて、今までと何が違うの？
- ・ SSHでどんなことができるの？
- ・ 1年生でのSSH活動って、どんなことをするの？



SSH（スーパーサイエンスハイスクール）とは？

スーパーサイエンスハイスクール

平成14年度より文部科学省は未来を担う科学技術系人材を育成することをねらいとして、理数系教育の充実を図る「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業」が始まりました。

SSHの指定校では、科学技術や理科・数学教育を重点的に行い、「科学への夢」「科学を楽しむ心」をはぐくみ、生徒の個性と能力を一層伸ばす教育が展開されています。

また、科学技術に夢と希望を持つ、創造性豊かな人材の育成のため、大学や研究機関とも連携して魅力的なカリキュラムや指導方法の研究も行っています。

向陽高校は、平成18年度にSSH事業(5年間)の指定を受け、今年、4年目に入りました。



本校のスーパーサイエンスハイスクールの取り組みは？

向陽高校のスーパーサイエンスハイスクール事業では、環境科学科の生徒を主な対象として、以下の研究開発課題に取り組みます。

- (1) 科学に関する基礎知識の定着に向けた「学習」から主体的な「研究活動」に発展させる理数教育システムの構築を図る。
- (2) 「環境問題」をテーマに、自然科学や社会科学の両分野からアプローチするとともに、他教科で学習した知識の統合化を促し、多面的に考察・探究する力を育成する。
- (3) 理系の併設中学校と連携し、6年間の中高一貫教育において体系的かつ高度な理数教育を行う教育課程の研究開発に取り組む。



「中学校レベルの基礎的な内容から大学レベルの高度な内容まで学習し、大学教授等との連携・協働による継続的な指導のもと実験を多く使い、環境問題も視野に入れた多様な学習活動を幅広く展開していきます。」

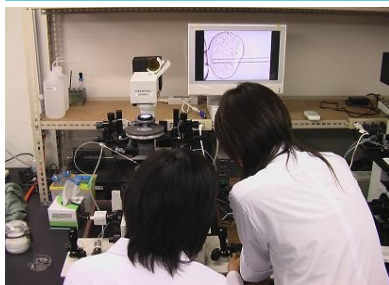
具体的には

- ① カリキュラム変更・・・情報の授業がSSHの授業(SS探究科学、等)に振り替わるなど、理科の授業時間数が多くなっています。
 - ・1年生から、物理、化学、生物を学習する。
 - ・SS探究科学の授業を利用した、実験・実習の増加。
- ② 大学等の連携・・・高度な研究に触れ、高い科学技術について学ぶ。
 - ・和歌山大学、和歌山県立医科大学、大阪大学、京都大学等への訪問、宿泊研修など。
- ③ 多面的な環境学習・・・ディベート等これまでの環境科学科で取り組んでいた学習をさらに深めていきます。また、コンピュータなどを利用したプレゼンなど、観察力とコミュニケーション力を高めます。

SSH事業の助成金により、普通の学校ではできないことが可能になります。

- ・ 専門器械の購入による実験の充実
- ・ 大学・研究機関への訪問
(研究室訪問)
- ・ 第一線で活躍する科学者による講演会や授業
(実験講座、先端科学講座)
- ・ 全国SSH指定校との交流

SSH関連行事始まる



研究室訪問の様子

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 4月 | SSHオリエンテーション
「SS環境科学」「SS探究科学Ⅰ」始まる |
| 5月 | 和歌山市内河川水質分析 |
| 6月 | 第1回研究室訪問
関西光科学研究所 木津地区 |
| 8月 | SSH全国研究発表会 |
| 10月下旬 | ラボツアー |

4月から、SSH関連行事が始まります。

詳しいことは、SSHニュースで紹介しますが、1年間の流れは、左上のようになっています。

実験講座の様子



みなさんは、これからSSHでいろいろ体験していくことになると思います。みなさんが、この取組を通して、将来大きく羽ばたくことを期待しています。ときにはしんどいこともあるでしょうが、積極的に、また、楽しみながら取り組み、力をつけていきましょう。